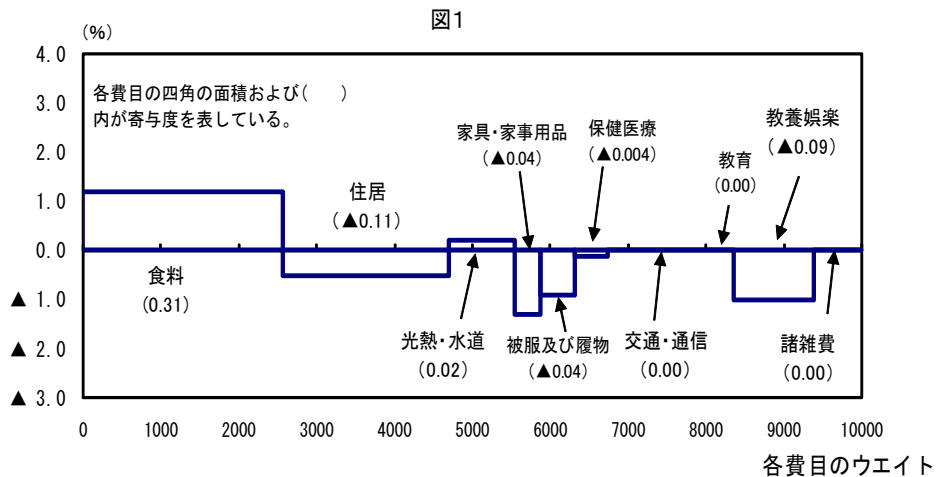


3 前月との比較

総合指数の前月比が前月と同水準となった内訳を寄与度で見ると、食料の上昇、住居、教養娯楽の下落がみられる。(図1)

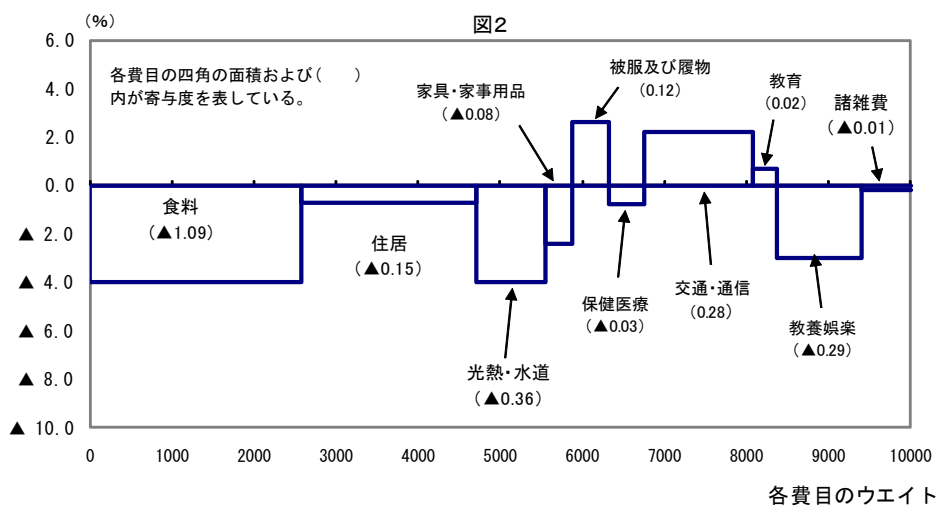


〔寄与度の高い費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
食料	野菜・海藻類(0.17)、果物(0.12)
住居	家賃(▲0.09)
教養娯楽	教養娯楽サービス(▲0.08)
家具・家事用品	家庭用耐久財(▲0.05)

4 前年同月との比較

総合指数の前年同月比が1.6%の下落となった内訳を寄与度で見ると、食料、光熱・水道、教養娯楽の下落が主な要因となっている。(図2)



〔寄与度の高い費目〕

費目	主な内訳(寄与度)
食料	調理食品(▲0.44)、生鮮果物(▲0.15)
光熱・水道	電気代(▲0.27)、ガス代(▲0.12)
教養娯楽	教養娯楽用品(▲0.16)、教養娯楽用耐久財(▲0.09)
交通・通信	自動車等関連費(0.35)